

第23回日本クリニカルパス学会学術集会について

会期：2023年11月10日(金)・11日(土)

場所：THE MARK GRAND HOTEL さいたま新都心

概要：第23回日本クリニカルパス学会学術集会が、「パスは続くよどこまでも一多職種がともに学びあう未来へ向けて一」をテーマに開催されました。

日本ジェネリック製薬協会からは源田浩一薬価委員会委員長が、パネルディスカッション3「突然クリニカルパスの変更作業が必要になったら～薬剤変更の対応の裏側～」に、パネリストとして、「ジェネリック医薬品の普及状況、品質管理、安定供給、流通に関する状況と日本ジェネリック製薬協会の取り組みについて」を講演しました。

当該パネルディスカッションでは、源田委員長の後、6名のパネリストから、欠品などで、クリニカルパスの変更を余儀なくされた際の対応の苦勞、特に指示簿の変更の苦勞、取組み、工夫などについて発表がありました。その後のディスカッションでは、フロアからも、多数の質問・意見が出ており、活発な意見交換がされました。

【パネルディスカッション3概要】

日時：2023年11月10日(金)15:00～16:30

座長：嶋田 元 氏 (聖路加国際病院ヘルニアセンター長・医長)

高田 礼 氏 (済生会横浜市東部病院TQMセンタークリティカルパス管理室・看護師長)

演者 (パネリスト)：源田 浩一 氏 (日本ジェネリック製薬協会)

田村 亮 氏 (神戸市立医療センター中央市民病院)

及川 瞬 氏 (国立病院機構 高崎総合医療センター)

小川 充恵 氏 (八尾市立病院)

大橋 裕丈 氏 (国立国際医療研究センター病院)

東野 和美 氏 (国立病院機構京都医療センター)

小木戸 淳一 氏 (相模原協同病院)